



「心ひとつに、みんなが輝いた YSF」

学校長 のむら 野村 ひかる 光

11月になり、早いもので今年も残すところあと二か月余りとなりました。

今年の洋二小スポーツフェスティバル(YSF)は、雨降りが心配されましたが、多くのご来賓と保護者の方々からの声援の中、10月26日(土)に無事に開催することができました。地域の皆様には、朝早くからの放送や応援の大太鼓の音等でご迷惑をおかけすることもあったかと思ひます。また、保護者の皆様には準備期間中や当日の運営面等へご協力いただき感謝申し上げます。

今年から、団体競技が復活し、競技に得点が付く YSF でした。結果は 634 対 604 で白組が優勝しました。振り返ると心を動かされる場面が沢山ありました。結果発表のとき、勝った白組の子どもたちからは歓喜の声が上がり、そして負けた赤組には悔しさから涙を流す子どももいました。悔しいと思うのは、本気で取り組んだからだと思ひます。それだけ、一人一人が真剣に参加し、本気で対戦した YSF だったのだと思ひます。徒競走では力いっぱい走り、団体競技では仲間と協力し競い合い、演技ではいつもよりさらに上を目指した表現をしようと真剣に取り組み、応援合戦では力いっぱい声を出して歌い、エール交換では相手を称え合い…全力で取り組む姿に、人は心を動かされるのだと、子どもたち一人一人から教えてもらった YSF でした。

閉会式の終わりの言葉で YSF 実行委員の 6 年生が話した「勝っても負けても、スローガンを目指し、みんなが力を合わせて作り上げた YSF が私の心に残りました。」という言葉が印象的です。最高学年らしい、立派なあいさつでした。スローガン通りに、赤組も白組も一人一人がみんな輝いていました。今年の YSF で経験したことを糧に、また次の目標を目指してがんばりましょう。

秋開催の YSF は今年が最後で、来年度からは春開催となります。「新生、春の YSF」で、現 5 年生のリーダーとしての活躍に期待しています。



ほどよい気候の季節がとても短くなってしまった気がします。半袖で過ごしていた 10 月も終わり、セーターが必要な 11 月が始まりました。気候の変動から、体調を崩す子どもや、ウィルス感染症も増えてくる季節です。体調管理に気を付けて、日々の生活を送っていただきたいと思ひます。